

## JR タクシープールで組織拡大行動

# 未組織の仲間に組合の必要と全自交加盟

(秋田地連)

2012年8月18日 秋田市内のJR秋田駅東・西タクシープール、JR本荘駅前、JR横手駅前、JR大曲駅前の5カ所で組織拡大



全自交秋田地連は8月18日に秋田市内のJR秋田駅東・西タクシープール、JR本荘駅前、JR横手駅前、JR大曲駅前の5カ所において、全自交の活動と組合結成を呼びかける組織拡大の街頭宣伝行動を行いました。各のりばでは、タクシー特措法後の減車数を示し、特定地域指定の①横手市では適正車両数まで減車が実行されたことと、②秋田交通圏では減車がまだまだ足りないことを伝え、タクシー事業法の早期成立を訴えました。

昨年、職場の労働相談から組合結成を実現したこともあり、相談を全自交に寄せるよう呼びかけました。また、昨年に引き続きアンケート調査を実施し、多くの乗務員と対話を重ねました。

全自交労連本部が作成したチラシと秋田地連機関紙号外の

2種類のチラシを配布したところ、多くの仲間が興味をしめし、アンケートにもこころよく協力してもらいました。

アンケートでは①平均稼働額、②賃金支給率と一時金支給額、③有給休暇・最低賃金・事故費負担の状況、④政策要望、を答えてもらいましたが、平均稼働25万（主に駅待ち）、賃率45%、有給違反37%、最賃違反45%、事故費負担34%、一時金は3社のみ、という結果となりました。昨年との比較では、「稼働は2万円減で賃率は3%増」となり、乗務員不足が深刻で賃率が上がっています。全自交の摘発運動もあり、有給・最賃違反は昨年よりかなり減少しました。政策要望では、多い順に①運転代行の取締り、②利用者拡大策、③タクシーのりばの拡充、④減車となりました。秋田市と由利本荘市では減車要求がトップです。

全自交秋田地連は今回の行動をスタートに継続的に街頭での宣伝を強化し、労働相談を広く受けながら、未組織の仲間に労働組合の必要と全自交への加入を呼びかけていくとともにタクシー事業法の早期成立に向けて行動することを訴えていきます。